

新完全マスター  
日本語能力試験

---

漢字  
N2

べつ さつ  
別冊2

かいとう かいせつ  
解答と解説

名前

---

# ステップ 1

## 第 1 回

- I ①先月は晴れた日が少なかった。  
②親しい友人に日常会話を習っている。  
③読書と旅行と、どちらが好きですか。  
④弟は、古い切手を集めています。  
⑤日本では、車は左、人は右を**通**ることになっている。  
⑥この店の定休日は木曜日です。  
⑦**私**は、朝**九時**に始まって夕方五時に終わる仕事がしたい。

- I ⑤日本：「**につぼん**」とも読む。  
**通**る：**通**う、通じる  
⑦**私**：正しくは「**わたし**」と読む。「**わたし**」は慣用的な読み方。  
九時：「**九**」の基本の音読みは「**キュウ**」。

## 第 2 回

- I ①一日に一度は教科書に**目を通**そう。  
②銀行は三時に閉まるから早く行きなさい。  
③お昼はいつも会社の食堂で食べることにしている。  
④あの有名な作曲家は、**元**歌手だそうだ。  
⑤あれは東洋**一**大きい建物です。  
⑥**私**は新聞の漢字が読めるようになりたい。  
⑦この土地の名物をお送りしましたので、お受け取りください。

- I ①**目を通**す：**目**「**ぎ**つと見る」  
④**～**家：「**～**を職業とする人」  
**元**～：「**以前**」  
⑤**～**一：「**～**の中で一番」

## 第 3 回

- I ①毎朝四時に起きて、公園を走ることになっている。  
②スピーチをする時は、自分の考えを短くまとめて話すこと。  
③**今年**は、七月**二十日**から夏休みだ。  
④**世界**の言語には**文字**を持たないものもある。  
⑤自転車で転んでしまつて足が痛い。  
⑥**明日**の午後は、大事な用事で外出します。  
⑦父母の元気な顔を見て安心した。  
⑧旅行の費用は、係の者が**集金**します。

- I ③**今年** 二十日：**特**  
④**世界**：「**世**」の基本の音読みは「**セイ**」。例：中世  
**文字**：「**もんじ**」とも読む。  
「**文**」の基本の音読みは「**ブン**」。例：文学  
⑥**明日**：**特** 改まった場合の読み方は「**みょうにち**」。「あした」は平仮名で書く。

第4回

I ①この用紙に、住所、氏名、**生年月日**と電話番号を書いてください。

②今年**は**天気**の**悪い日**が**多く、見学者**は**去年**の**半分だ。

③遠く**に**海**が**見えるレストラン**で**昼食**を**取ろう。

④**し**っかり働いた**後****で**飲**む**お茶**は**おいしい。

⑤**台風**の強い風**の**ため、電線**が**切れ電気**が**消えた。

⑥安全運転**で**楽しい旅**を**。

⑦春**の**洋服**に**は、明るい色**が**好**ま**れる。

⑧山**の**上**から**見**下**ろすと、町**も**村**も**小さく見える。

II a うつつ b だいがく c おくじょう d 大小

e ふたつ f くださる g げか h いがく

i まな**ん**で j みごと**に** k はずれた l **せ**けん

m 悪口 n 会う o 急いで

I ①生年月日：「月」の**基本**の音読みは「ゲツ」。例：今**月**

④**後**で：**窓**後、後ろ

⑤**台風**：「台」の**基本**の音読みは「ダイ」。例：台**所**

⑦好**む**（動）：**窓**好**き**（形）

II a 映る：**窓**写る

g 外科：「外」の**基本**の音読みは「ガイ」。例：外**国**

l 世間：「間」の**基本**の音読みは「カン」。例：時**間**

m 悪口：「わるぐち」の読み方もある。

第5回

I ①**食**事後、**空**いたコップ**を**台所**ま**で運んでください。

②こちらへは、地下鉄**を**利用されるのが便利**で**す。

③兄**は**ドア**を**ぴったり**閉**めて、夕飯**に**なっても**部**屋**か**ら一歩も出**て**こない。

④姉**か**ら、男**の**子**が**生まれた**と**いう知らせ**が**来た。

⑤先生**は**高校時代**の**思い出**を**話**し**てくださ**っ**た。

⑥**薬**屋**は**、そこ**を**右**に**曲**が**るとあり**ま**すよ。

⑦この県**の**人口**は**、ここ五、六年**ほ**ぼ一**定**して**い**る。

II a **う**お b いちば c きんぎょ d しゅうちゅうりょく

e 高めて f **ま**ざ**っ**て g いつ**つ** h いと

i 親切な j じい**ん** k 黒**く**て l 止**ま**って

m 手 n 円 o おお**や**さん

I ①**空**く（動）：**窓**空**き**（名）、空（名）、空（名）

③閉**め**る：**窓**閉**じ**る

**部**屋：**窓**（特）

⑥～屋：「その職業**の**人、職業**を**営**む**店」

II a 魚：**窓**魚

f 交**ざ**る：**窓**混**ざ**る

第6回

- I ①電気と水道の使用料金で、毎月九千円ぐらいかかる。  
 ②大会に出場する人は、全員こちらに集まってください。  
 ③受験のために毎日八時間も勉強した。  
 ④私は特に「か」と「が」の区別が苦手だ。  
 ⑤自転車の二人乗りは危ないので禁止されている。  
 ⑥日本の首都の人口は約千三百万人です。  
 ⑦今度の休みは部長の代理でゴルフに行くことになっている。

- II a じょうず b へた c うわぎ d 金色  
 e 紙 f さんしょく g ぜんしゃ h こうしゃ  
 i あらたな j しょうじた k なま l 魚  
 m まさに n ちゅうせい o おこなわれて

- I ⑤二人：参 (特)  
 ⑥千三百万人：2010年3月現在  
 の人口。「人」の基本の音読みは「ジン」。例：外国人

- II a 上手 b 下手：参 (特)  
 h 後者：「後」の基本の音読みは「ゴ」。例：午後  
 j 生じる：「発生する」という意味。「生じる／ずる」あり。  
参 (回IV e) 「生」の基本の音読みは「セイ」。例：生活  
 k 生：「熱を加えていない」

第7回

- I ①海外に住んでいる親友から七年ぶりに便りが来た。  
 ②遠くに家を買うより、都心のマンションを借りたほうが便利だ。  
 ③この先の広い道を三分ほど行くと、お寺の前に出ます。  
 ④花に水をやり小鳥の世話をするのが、私の朝の仕事だ。  
 ⑤来週長男が海外から帰るのを楽しみにしている。  
 ⑥楽な一生よりも、苦しくても自分らしい人生を送りたい。  
 ⑦あの後ろに見える西洋風の建物が国立図書館です。

- II a 代わって b おもに c てくび d 痛む  
 e きょうだい f ちょうしょ g たんしょ h みやこ  
 i 二日 j 日曜日 k つごう l 九日  
 m 赤い n 土 o 川

- I ①便り：送り仮名に注意。  
 ③～分：「分」の基本の音読みは「ブン」。例：気分  
 ⑤長男：「男」の基本の音読みは「ダン」。例：男子  
 ⑥楽な：「楽」の基本の音読みは「ガク」。例：音楽  
 ⑦～風：「～の特色を持つ」  
 図書館：「図」の基本の音読みは「ズ」。例：地図

- II e 兄弟：「兄」の基本の音読みは「ケイ」。  
 i 二日：参 (特)  
 k 都合：「都」の基本の音読みは「ト」。例：都会

第8回

- I ①消費者の**好み**を**考**えて、**新**しいタイプの**車**を作った。  
 ②**勉強不足**で、**何**を聞かれても**正**しく**答**えられなかった。  
 ③日本は、**春**、**夏**、**秋**、**冬**の**区別**が**は**っきりしている。  
 ④小さい時は**体**が**弱**かったが、**大人**になってからは**病**気一つ  
 しない。  
 ⑤この地方は**南**から**北**にかけて**森**林が**広**がっている。  
 ⑥ニュースによると**青**少年の**体**力が**少**しずつ**低**下してきてい  
 る**そ**うだ。  
 ⑦**本**が**着**きましたら、**来**月の**十**日までに**代**金を**郵**送してくだ  
 さい。

- II a **かいとう**    b 土曜日    c 出して    d 同じ  
 e **どういつ**    f せきどう    g とつきゆう    h じょうぎょう  
 i 南北    j 長い    k **お父さん**    l 手前  
 m 言った    n 牛肉    o 安くて

- I ①**好み**：「好む」(動)の名詞化。  
 ②**勉強不足**：「べんきょう+ふ  
 そく」→「べんきょうぶそく」  
 読み方に注意。  
 ④**大人**：**図**(特)  
 II a 回答：「質問や要求などへの  
 返事」**図**解答  
 e 同一：「一」の**基**本の音読み  
 は「イチ」。例：一度  
 k お父さん：**図**(特)

第9回

- I ①雨が降った**後**は、**運**動場を**使**用**し**ないでください。  
 ②**地**図によれば、**交**番は**映**画館と**公**園の**間**にあるはずだ。  
 ③**苦**心して**作**った**作**品を**ほ**められて、**少**女は**う**れし**そ**うだっ  
 た。  
 ④**開**会にあたって、**市**長は**今**後の**計**画を**力**強く**語**った。  
 ⑤**お**寺の**門**の前で、**一**人の**男**が**飲**み物**を**売っている。  
 ⑥この**レ**ポートは**今**晩**中**に**仕**上げる**つ**もりだ。  
 ⑦**火**事があったために、**今**日この**通**りは**通**行**禁**止**に**なっ**て**い  
 る。

- II a 四日    b 六日    c **ちゅうこしや**  
 d ばいばい    e たいはん    f まったく    g うれゆき  
 h 非常に    i じょうひんな    j **先日**    k しな  
 l うち    m そと    n 使い分ける    o **しょもつ**

- I ④**計画**：「画」の**基**本の音読み  
 は「ガ」。例：映画  
 力強く：「ちから+つよく」  
 →「ちからづよく」読み方に  
 注意。  
 ⑤一人    ⑦今日：**図**(特)  
 II c 中古：「使用して古くなった  
 品物」  
 j 先日：「日」の**基**本の音読み  
 は「ニチ」。例：日曜  
 o 書物：「物」の**基**本の音読み  
 は「ブツ」。例：動物  
 「モツ」と読むのは「食物」  
 など。

第10回

- I ①あの黒<sup>くろ</sup>っぽい服<sup>ふく</sup>を着<sup>き</sup>た方<sup>かた</sup>は物理学者<sup>ぶつりがくしや</sup>です。  
 ②こういうミス<sup>なんかい</sup>が何回<sup>かさ</sup>も重<sup>しやちやう</sup>なつて、社長<sup>しやちやう</sup>の耳<sup>みみ</sup>に入<sup>はい</sup>るとまづい。  
 ③寝不足<sup>ねぶそく</sup>と疲れ<sup>つか</sup>から入院<sup>にゅういん</sup>してしまつた。  
 ④動物好き<sup>どうぶつずき</sup>の母<sup>はは</sup>は、犬<sup>いぬ</sup>も家族<sup>かぞく</sup>同様<sup>どうやう</sup>に大切<sup>たいせつ</sup>にしています。  
 ⑤兄<sup>あに</sup>は、四十代<sup>よんじゅうだい</sup>半ば<sup>なか</sup>で小学<sup>しょうがっこう</sup>校<sup>こう</sup>の校長<sup>こうちやう</sup>になつた。  
 ⑥この工場<sup>こうじやう</sup>では危険<sup>きけん</sup>な化学薬品<sup>かがくやくひん</sup>を使<sup>つか</sup>っている。  
 ⑦ただいま、都内<sup>とない</sup>の電車<sup>でんしや</sup>は全線<sup>ぜんせん</sup>が不通<sup>ふつう</sup>になつています。

- II a 西口 b ごじゅうおん c じゅうぶん d ほんにん  
 e 子犬 f ゆくえ g 歌 h 歌つて  
 i 閉会 j あけたら k 林 l 交通  
 m べん n いっぽう o しやつぎん

- I ②耳<sup>みみ</sup>に入<sup>はい</sup>る：匱「情報<sup>じやうほう</sup>など<sup>き</sup>を聞<sup>き</sup>いて知<sup>し</sup>る」  
 ③寝不足<sup>ねぶそく</sup>：「ね+ふそく」→「ねぶそく」よかた<sup>ちゆうい</sup>に注意<sup>ちゆうい</sup>。  
 ④動物好き<sup>どうぶつずき</sup>：「どうぶつ+すき」→「どうぶつずき」よかた<sup>ちゆうい</sup>に注意<sup>ちゆうい</sup>。  
 ⑤半ば<sup>なか</sup>：送<sup>おく</sup>り仮名<sup>がな</sup>に注意<sup>ちゆうい</sup>。  
 II c 十分<sup>じゅうぶん</sup>：「不足<sup>ふそく</sup>がない」  
 f 行方<sup>ゆくえ</sup>：匱 (特)  
 j 明<sup>あ</sup>ける：「年<sup>とし</sup>が明<sup>あ</sup>ける」は「新<sup>しん</sup>年<sup>ねん</sup>になる」という意味<sup>いみ</sup>。  
 m 便<sup>べん</sup>：「便<sup>べん</sup>が悪<sup>わる</sup>い」は「不便<sup>ふべん</sup>だ」という意味<sup>いみ</sup>。「ビン」と読<sup>よ</sup>むのは「郵便<sup>ゆうびん</sup>や輸送<sup>ゆそう</sup>機関<sup>きかん</sup>」の時<sup>とき</sup>。

第11回

- I ①友人<sup>ゆうじん</sup>間<sup>かん</sup>でお金<sup>かね</sup>を貸<sup>か</sup>したり借<sup>か</sup>りたりしないこと。  
 ②二階<sup>にかい</sup>で一晩<sup>ひとばん</sup>中物音<sup>ちゆうものおと</sup>がして寝<sup>ね</sup>られなかつた。  
 ③お正月<sup>しょうがつ</sup>に国<sup>くに</sup>へ帰<sup>かえ</sup>つて、お母<sup>かあ</sup>さん<sup>つく</sup>の作<sup>つく</sup>つてくれる料理<sup>りやうり</sup>を味<sup>あじ</sup>わうの<sup>たの</sup>楽しみ<sup>たのしみ</sup>にしています。(手紙<sup>てがみ</sup>文<sup>ぶん</sup>で)  
 ④私<sup>わたし</sup>の好<sup>す</sup>きな学<sup>が</sup>科<sup>か</sup>は理<sup>り</sup>科<sup>か</sup>と音<sup>おん</sup>楽<sup>がく</sup>だ。  
 ⑤あ<sup>あ</sup>の病<sup>びやう</sup>院<sup>いん</sup>は、曜<sup>よう</sup>日<sup>び</sup>によつては夜<sup>や</sup>間<sup>かん</sup>も開<sup>あ</sup>いています。  
 ⑥去<sup>き</sup>年<sup>ねん</sup>行<sup>い</sup>つた工<sup>こう</sup>事<sup>じ</sup>をめぐ<sup>めぐ</sup>る不<sup>ふ</sup>正<sup>せい</sup>につい<sup>ち</sup>て、知<sup>ち</sup>事<sup>じ</sup>に質<sup>しつ</sup>問<sup>もん</sup>が集<sup>しゅう</sup>中<sup>ちゆう</sup>した。  
 ⑦私<sup>わたし</sup>は父<sup>ちち</sup>親<sup>おや</sup>から心<sup>こころ</sup>の広<sup>ひろ</sup>い人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>になれ<sup>おそ</sup>と教<sup>おそ</sup>わつた。

- II a 三十七度 b さがつて c ほんじつ d 中止  
 e はたち f みつか g ぎょうじ h 田  
 i おこめ j 味 k 痛み l 取る  
 m きょうりよくな n くつう o なかつた

- I ③正月<sup>しょうがつ</sup>：「正<sup>せい</sup>」の基<sup>き</sup>本<sup>ほん</sup>の音<sup>おん</sup>読<sup>よ</sup>みは「セイ」。例<sup>れい</sup>：不正<sup>ふせい</sup>  
 お母<sup>かあ</sup>さん：匱 (特)  
 ⑤開<sup>あ</sup>く：匱開<sup>ひらく</sup>  
 ⑦人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>：「間<sup>ま</sup>」の基<sup>き</sup>本<sup>ほん</sup>の音<sup>おん</sup>読<sup>よ</sup>みは「カン」。例<sup>れい</sup>：時間<sup>じかん</sup>  
 II c 本<sup>ほん</sup>日<sup>じつ</sup>：「今<sup>きょう</sup>日<sup>にち</sup>」の改<sup>あらた</sup>まつた言<sup>い</sup>方<sup>かた</sup>。  
 e 二十<sup>はたち</sup>：匱 (特)  
 g 行<sup>ぎやう</sup>事<sup>じ</sup>：「行<sup>ぎ</sup>」の基<sup>き</sup>本<sup>ほん</sup>の音<sup>おん</sup>読<sup>よ</sup>みは「コウ」。例<sup>れい</sup>：行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>

第12回

I ①お兄さんは南米でお医者さんとして働いていらっしゃるかと。

②友人のお姉さんがケーキを八つに切って分けてくれた。

③四月七日は遠足です。

④この全集は、東西の有名な作家の作品が集められている。

⑤考えても分かりませんでしたので、答えを教えてください。

⑥持った時重かったのに、開けたら中は空だった。

⑦今は多くの人々が、心に不安を持って生きている時代だ。

II a けさ                      b 夜                      c 低く                      d かない

e みょうごにち      f おへんじ      g お名前      h みょうじ

i 降りて                      j したまち      k めいしょ      l 木

m 森                      n 部分                      o 全体

I ①お兄さん ②お姉さん：窓  
(特)

④東西：「西」の基本の音読みは「セイ」。例：西洋

II a 今朝：窓 (特)

e 明後日：「明」の基本の音読みは「メイ」。例：説明 窓「あさって」は平仮名で書く。

h 名字：「名」の基本の音読みは「メイ」。例：氏名

i 降りる：窓下りる

第13回

I ①何か足りない物があったら、近所の店で買ってください。

②南の国を旅行した時に見た、白い花の名前が知りたい。

③元教会だった建物は、今大使館として使われている。

④姉が日本に住んでいるので、来日して特に困ったことはない。

⑤兄弟二人の年を足すとちょうど四十になる。

⑥人がいないはずの教室の中から、小さい女の子の声が聞こえる。

⑦この地方の地下水は飲料水として使用されている。

II a むじ      b きじ      c 見せて      d よあけ      e ようか

f やおや      g 安売り      h 夕食      i 特別な      j 青

k さゆう      l 来月      m ついたち      n つねに      o ようじん

II a 無地：「地」の基本の音読みは「チ」。例：地球

b 生地：「き(訓) + ジ(音)」の読み方に注意。

f 八百屋 m 一日：窓 (特)

k 左右：「右」の基本の音読みは「ウ」。

o 用心：「用心する」は「気をつける」という意味。「心」の基本の音読みは「シン」。例：心配

第14回

- I ①駅の売店で新聞と飲み物を買った。  
 ②この石は火には強いが、水には弱い。  
 ③山林の火事は四十八時間で消し止められた。  
 ④学費の一部にするために、週三回、飲食店で働いています。  
 ⑤学校まで歩いて通える場所に部屋を借りた。  
 ⑥東の空に大きな月が出ていた。  
 ⑦入り口の所に立っていると、入る人のじゃまになります。

- II a みおくり b 友 c 別れ d あかり  
 e 消して f 閉じる g できごと h しまい  
 i 九つ j 六つ k 四つ l ぶじ  
 m 話 n なにじん o はえて

- I ⑤通う：通る、通じる  
 II d 明かり (名)：送り仮名に注意。明るい (形)  
 l 無事：「無」の基本の音読みは「ム」。例：無理  
 n 何人：「何人」との意味の違いに注意。  
 m 話 (名)：話す (動)

ステップ2

第15回

- I ①気分が悪いのなら、しばらくそこに横になっていなさい。  
 ②広場の中央に大きな時計台がある。  
 ③上りと下りの電車を間違えて乗ってしまった。  
 II ①解く (とく) ②加える (くわえる)  
 ③温めます (あたためます) ④過ぎた (すぎた)  
 ⑤返す (かえす)  
 III ①各 c かくじ d かくち  
 ②育 e たいいくかん f きょういく  
 ③感 g かんしんな h かんどう  
 IV a かいが b 貝 c なま d 鳥 e おうじ  
 f ものがたり g 一億円 h かど i 明らか j ようす  
 V ①2 ②1 ③1 ④3 ⑤4

- I ②時計：特  
 ③上り：ここでは「地方から中央へ向かう」。⇔下り  
 II ③温める：「温める」は手など体の一部で感じられるものに使う。暖める  
 IV e 王子：「子」の基本の音読みは「シ」。例：調子  
 i 明らか：送り仮名に注意。「はっきりしている」という意味。明かり (名)、明るい (形)  
 V ①強引に：「強」の基本の音読みは「キョウ」。例：勉強  
 ④果たして (副)：「本当に～だろうか」  
 ⑤自ら：送り仮名に注意。「自分から、自分で」という意味。



第16回

- I ①大通りにある薬局は、年中特売をしている。  
 ②花火を見物する人で、橋の上は動けないほどだった。
- II ①日課 (にっか) ②活気 (かっき) ③意外 (いがい)  
 ④経営 (けいえい) ⑤以降 (いこう)
- III ①角 aさんかくけい bかくど  
 ②月 cおしょうがつ dつきひ  
 ③記 eきにゆう fきじ  
 ④共 gきょうつう hきょうどう
- IV a おのおの bちょうしょ cかこ dかいぎ  
 eながびいて f器具 gおすまい hむりょう  
 iたいおんけい jはかる
- V ①4 ②(1)1 (2)1 (3)2 ③3

- I ①年中：「ずっと、いつも」
- IV a 各々：「一人一人」という意味。「々」は同じ文字の繰り返し。返し符号。「各」だけで「おのおの」とも読む。  
 c 過去：「去」の基本の音読みは「キョ」。例：去年  
 g 住まい (名)：「住んでいる所」参住む (動)  
 j 計る：「数量や時間を調べ数える」参測る、量る
- V ①玉：「丸い形をした物」  
 ②(2)大木：「大」の基本の音読みは「ダイ」。「木」の基本の音読みは「ボク」だが、「木曜日」「木材」など「モク」と読む語が多い。  
 ③足る：「十分である」

第17回

- I ①広告は、新聞よりテレビのほうが効果があるようだ。  
 ②コンサートに行く前に、どこかで軽く食べて行こう。  
 ③日記を読んで、楽しかった学生時代を思い出した。
- II ①改める (あらためる) ②育つて (そだつて)  
 ③結んで (むすんで) ④光つて (ひかつて)  
 ⑤用いる (もちいる)
- III ①泳 aすいえい bおよいだ  
 ②向 cほうこう dむかつて  
 ③決 eきめた fけっしん  
 ④待 gきたい hまつて
- IV aかたち bちょうほうけい c過ごした dほうがく  
 e事件 f限り g可決 hしてつ i起こした jくらい
- V ①2 ②4 ③1 ④3 ⑤2

- I ②軽く食べる：「少し食べる」
- II ⑤用いる：「使う、使用する」
- IV d 方角：「角」の基本の音読みは「カク」。例：三角
- V ④球：「スポーツのボール、それに似た形のもの」

第18回

I ①強い<sup>つよ</sup>光<sup>ひかり</sup>は目に悪い<sup>めわる</sup>ので、夏<sup>なつ</sup>はサングラスをかけるようにしている。

②昨日<sup>きのう</sup>売り出<sup>う</sup>されたコンピューターは、あつ<sup>ま</sup>という間<sup>う</sup>に売<sup>う</sup>り切<sup>き</sup>れた。

II ①空港 (くうこう) ②山林 (さんりん) ③目次 (もくじ)

④生産 (せいさん) ⑤国際 (こくさい)

III ①限 a げんかい b むげん

②在 c ざいがく **ちゅう** d げんざい

③解 e **かい**とう f りかい

④合 g ごうどう h ごうりか

⑤長 i **とくちよう** j ちようちよう

IV a ね b つち c とりいれる d こんがつき

e しけん f 課 g いたい h ゆび

i ち j けっして

V ①(1)3 (2)**4** ②**4** ③(1)**1** (2)2

I ①光 (名) : 送り仮名はつかない。参<sup>ひか</sup>光<sup>ひかり</sup>る (動)

②昨日 : 参<sup>あ</sup> (特) 改<sup>あらた</sup>まった場合<sup>ばあい</sup>は「昨日<sup>さくじつ</sup>」とも読<sup>よ</sup>む。

あつという間 : 「短<sup>みじか</sup>い時間<sup>じかん</sup>、すぐ」

III c ~中 : 「~している」という意味<sup>いみ</sup>。例 : 工事中<sup>こうじちゆう</sup>

e 解答 : 「練習問題<sup>れんしゅうもんだい</sup>などの答<sup>こた</sup>え」

参<sup>かい</sup>回答<sup>とう答</sup>

i 特<sup>とく</sup>長 : 「そのものの特<sup>とく</sup>によい所<sup>ところ</sup>」 参<sup>とくちよう</sup>特<sup>とく</sup>徴

IV j 決<sup>けつ</sup>して : 「決<sup>けつ</sup>して~ない」の形<sup>かたち</sup>で用<sup>もち</sup>い、「絶<sup>ぜつ</sup>対<sup>たい</sup>に~ない」

という意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

V ①(2)指<sup>さ</sup>す : 「指<sup>ゆび</sup>などで示<sup>しめ</sup>す」

②効<sup>き</sup>く : 「効<sup>こう</sup>果<sup>か</sup>がある」

③(1)通<sup>つう</sup>じ<sup>つ</sup>る : 「通<sup>つう</sup>じ<sup>つ</sup>る/ずる」

あり。参 (5)IV e)

第19回

I ①西<sup>にしむ</sup>向<sup>へや</sup>きの部屋なので、夏<sup>なつ</sup>の夕<sup>ゆう</sup>方<sup>がた</sup>は暑<sup>あつ</sup>くてたまらない。

②さっきまで泣<sup>な</sup>いていた妹<sup>いもうと</sup>が、もう笑<sup>わら</sup>っている。

II ①失<sup>し</sup>った (うし<sup>な</sup>った) ②示<sup>しめ</sup>して (しめ<sup>して</sup>)

③死<sup>し</sup>ぬ (し<sup>ぬ</sup>) ④効<sup>き</sup>く (き<sup>く</sup>)

⑤試<sup>し</sup>して (ため<sup>して</sup>)

III ①資 a しほん b しりょう

②式 c けいしき d けっこんしき

③情 e かんじょう f じじょう

④商 g しょうばい h しょうひん

⑤原 i げんりょう j げんし

IV a 王 b 教師 c ながねん d 研究 e み

f むすんだ g さんしょう h かち i 手術

j なおしたい

V ①(1)3 (2)1 ②2 ③(1)4 (2)4

I ①～向<sup>む</sup>き：「部<sup>へや</sup>屋<sup>まど</sup>の窓<sup>まど</sup>などが～  
の方<sup>ほう</sup>向<sup>こう</sup>に向<sup>む</sup>いている」

II ②示<sup>しめ</sup>す：「相<sup>あ</sup>手<sup>て</sup>にはっきり分<sup>わか</sup>か  
るよう<sup>よう</sup>に見<sup>み</sup>せる」

IV c 長<sup>なが</sup>年<sup>ねん</sup>：「な<sup>な</sup>が(訓)+ネ<sup>ネ</sup>(音)  
の読<sup>よ</sup>み方<sup>かた</sup>に注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>。

e f 実<sup>み</sup>を結<sup>むす</sup>ぶ：圖<sup>けっ</sup>「よ<sup>よ</sup>い結<sup>けつ</sup>果<sup>か</sup>を  
得<sup>え</sup>る」

g ～勝<sup>しょう</sup>：勝<sup>か</sup>つた回<sup>かい</sup>数<sup>すう</sup>を数<sup>かず</sup>え<sup>え</sup>る助<sup>じょ</sup>  
数<sup>すう</sup>詞<sup>し</sup>。

j 治<sup>なお</sup>す：「病<sup>びょう</sup>氣<sup>き</sup>」の時<sup>とき</sup>には「治<sup>なお</sup>す」  
を<sup>つか</sup>用<sup>う</sup>う。圖<sup>な</sup>直<sup>ち</sup>す

V ①(2)四<sup>よ</sup>つ角<sup>かど</sup>：「四<sup>よ</sup>つ」の読<sup>よ</sup>み方<sup>かた</sup>  
は「よ<sup>よ</sup>つ」だ<sup>だ</sup>が、名<sup>めい</sup>詞<sup>し</sup>につ  
く<sup>く</sup>と「よ<sup>よ</sup>つ」と読<sup>よ</sup>む。

③(1)険<sup>けわ</sup>しい：こ<sup>こ</sup>こ<sup>こ</sup>では「傾<sup>けい</sup>斜<sup>しや</sup>が  
急<sup>きゅう</sup>な」とい<sup>い</sup>う意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

(2)目<sup>め</sup>指<sup>ざ</sup>す：「目<sup>もく</sup>標<sup>ひょう</sup>にする」

第20回

I ①この海はすぐ深くなるので、泳ぐのは危ない。

②私が受けた大学は、受験科目が英語と数学だけだった。

II ①政治 (せいじ) ②社説 (しゃせつ) ③助手 (じょしゆ)

④果実 (かじつ) ⑤身分 (みぶん)

III ①一昨年 (いっさくねん) ②暗記 (あんき)

③合格 (ごうかく) ④改正 (かいせい)

⑤真空 (しんくう)

IV a 雪 b 初めて c 屋根 d だんせい e 願って

f がんじつ g 寺 h じんじゃ i 静かな j お座り

V ①3 ②1 ③(1)4 (2)2 ④2

II ⑤身分:「み (訓) + ブン (音)」

の読み方に注意。

III ④改正:「改めて正しくする」。

例: 憲法改正

IV b 初めて:「1 回目」 始め

(×始めて、×初める)

f 元日:「元」の基本の音読み

は「ゲン」。例: 元氣

h 神社:「神」の基本の音読み

は「シン」、「社」の基本の音

読みは「シャ」。例: 神経、

会社

V ①笑顔: 獰 (特)

④酒場:「さか」の読み方に注意。

第21回

I ①今若い人の中では、船の旅も人気があるそうだ。

②外が暗くなったと思ったら、急に雨が降り出した。

③色の組み合わせで最も自立するのは、黄色と黒だ。

II ①相違 (そうい) ②勝手 (かって) ③相続 (そうぞく)

④対立 (たいりつ) ⑤成分 (せいぶん)

⑥身長 (しんちょう)

III ①設 a せつけい b けんせつ

②宅 c じたく d きたく

③信 e しんごうき f じしん

④題 g もんだい h だいいめい

⑤制 i せいど j せいげん

IV a 地球 b 自然 c 会議 d 昨日 e 星

f こまかい g 指示 h 他人 i せんそう j たたかった

V ①(1)1 (2)4 ②2 ③3 ④3

I ①人気がある:「人々に好かれる」

③自立つ:「め+たつ」→「めだつ」読み方に注意。

IV b 自然:「自」の基本の音読み

は「ジ」。例: 自由

f 細かい: 送り仮名に注意。 獰

ほそ 細い

V ①(1)治める:「混乱をしずめる」

獰 治す

②済む:「解決する」という意味。「終わる」という意味もある。

第22回

<p>I ①今年の冬は暖かくて、まだ一度も雪が降らない。 ②都会では鳥や虫がだんだん見られなくなってきている。</p> <p>II ①達した (たっした)      ②注いで (そそいで) ③助かって (たすかって)    ④追われて (おわれて) ⑤折れて (おれて)          ⑥調べて (しらべて)</p> <p>III ①選 a せんしゅ      b えらばれた ②進 c すすまない    d しんぼ ③相 e あいて          f そうだん ④置 g おく            h いち ⑤速 i じそく          j はやさ ⑥最 k もっとも        l さいこう</p> <p>IV a 軍                  b 関係              c でんごん    d 打つ              e 写真 f じつぶつ    g 写って    h おそい          i おくれて        j 差</p> <p>V ①(1)1 (2)3    ②1    ③4    ④3</p>	<p>II ①達する：「ある場所や程度に届く、及ぶ」<u>窓</u>「漢字1字+する」動詞 (52 I ②)</p> <p>III j 速さ (名)：<u>窓</u>速い (形) 「速」は速度に、「早」は時間の経過に使う。</p> <p>IV c 伝言：「言」の基本の音読みは「ゲン」。例：言語 d 打つ：「心」を打つ」は<u>窓</u>「感動させる」という意味。 h i 遅い・遅れる：おそい (形)、遅れる (動) 読み方に注意。</p> <p>V ③手伝う：<u>窓</u> (特) ④暖まる (自)：<u>窓</u>暖める (他)</p>
---	---

第23回

<p>I ①個人的な意見ですが、私はそれに反対です。 ②日本では、牛や馬は農業でよく使われていた。</p> <p>II ①直して (なおして)      ②静まった (しずまった) ③争って (あらそって)    ④熱する (ねっする) ⑤比べる (くらべる)      ⑥深まった (ふかまった)</p> <p>III ①退 a たいいん      b いんたい ②職 c しょくにん    d しょくば ③数 e かず            f かぞえる ④点 g じゃくてん    h しゅうてん ⑤期 i じぎ            j たんきかん</p> <p>IV a かのじょ      b 発音              c 得意げ    d なげる e 竹                  f のぼりたい    g 死んで    h 悲しそう i おんだんか    j とうしょ</p> <p>V ①(1)2 (2)3 (3)2    ②(1)1 (2)3</p>	<p>II ①直す：「間違いなどを正しくする」<u>窓</u>治す ④熱する：「熱が生ずる、熱くする」<u>窓</u>「漢字1字+する」動詞。(52 I ②)</p> <p>III d 職場：「シヨク (音) + ば (訓)」の読み方に注意。</p> <p>IV a 彼女：「彼」の基本の訓読みは「かれ」。</p> <p>V ①(3)飛ばす：「風船を飛ばす」は「風船を空に上げる」という意味。 ②(2)増える (自)：<u>窓</u>増やす (他)、増す (類)</p>
--	---

第24回

I ①夫は**気が短い**のが欠点で、少しの時間も待つことができない。

②初級の文法といっても、完全に使える人は少ない。

II ①**解放** (かいほう) ②電池 (でんち) ③**開放** (かいほう)

④普通 (ふつう) ⑤付近 (ふぎん) ⑥美人 (びじん)

III ①現 a げんじつ b **あらわれて**

②残 c のこって d ざんねん

③酒 e にほんしゅ f **おさけ**

④負 g まける h **しょうぶ**

⑤熱 i あつかった j ねつ

⑥増 k ふえて l ぞうか

IV a 忘れて b 治す c え d 才能 e 婦人服

f 地位 g 忙しく h おもて i **とびでる** j 平行

V ①(1)2 (2)1 ②1 ③4 ④3

I ①**気が短い**：**匱**「せっかちである、短気である」という意味。

II ①**解放**：「制限がなく自由にすること」

③**開放**：「ドアや窓などを開けたままにしておくこと」「出入りを自由にすること」

III b **現れる**：「今まで見えなかったものが見えるようになる」

例：雲の間から太陽が**現れる**

h **勝負**：「負」の基本の音読みは「フ」。例：**負担**

IV i **飛び出る**：「目の玉が飛び出る」は**匱**「ひどく驚く」という意味。

V ①(1)**首相**：「相」の基本の音読みは「ソウ」。例：**相談**

②**直ちに**：「すぐに」の**改**まった言い方。**匱**直に

第25回

I ① テレビ放送が始まってから、日本人の生活スタイルは大きく変わった。

② ベルが鳴ったのに気付かず、教室に入るのが遅れてしまった。

II ① 伝わった (つたわった) ② 信じ (しんじ)

③ 増す (ます) ④ 表す (あらわす)

⑤ 望んで (のぞんで) ⑥ 在る (ある)

III ① 第 a しだいに b だいいち

② 面 c しょうめん d じめん

③ 命 e じんめい f せいめい

④ 農 g のうそん h のうみん

⑤ 未 i みかいけつ j みらい

⑥ 単 k たんい l たんご

IV a 並んで b 寒い c 必要 d しんけいしつな

e しゅやく f つとめる g 毛糸 h のはら

i ねころんで j 雲 k おちてきた

l あたって m 頭

V ①(1)3 (2)4 ②1 ③1 ④3

II ② 信じる:「信じる/ずる」あり。

𠄎 (㊦IVe)

③ 増す: 𠄎 増える

III a 次第に (副):「だんだん」

「次」の基本的音読みは「ジ」。

例: 目次

IV d 神経質な:「細かいことが気

になる性質」「～質」は「～

の性質や傾向を持った」とい

う意味。

f 務める:「任された仕事や役

目を果たす」𠄎 勤める、努め

る

V ③ 夫婦:「夫」の基本的音読み

は「フ」。例: 夫妻

第26回

I ①大学に合格したことを伝えると、両親は心から喜んでくれた。

②次の試合に勝つためには、もっと練習する必要がある。

③先日は無理なことを申しまして、大変失礼しました。

II ①月末(げつまつ) ②予備(よび)

③分類(ぶんるい) ④知能(ちのう)

⑤困難(こんなん) ⑥草原(そうげん)

III ①直 a ちよくご b ちよくつう

②形 c **にんぎょう** d けいしき

③例 e じつれい f れいがい

④和 g へいわな h **わふく**

⑤表 i だいひょう j ひょうし

⑥路 k つうろ l **ろせん**

IV a りゅう b せんめん c すずしい d 減って

e 航空 f **工夫** g かはんすう h えられる

i だいぶ j みのる

V ①2 ②1 ③(1)**3** (2)**4** (3)3

III c 人形:「形」の基本の音読みは「ケイ」。例:形式

h 和~:「日本風の」という意味。

l 路線:「鉄道やバス道路、またはその道筋」**線**路

IV f 工夫:「よい方法をいろいろ考えること」。「工」の基本の音読みは「コウ」。例:工場

V ③(1)真**っ**赤: **赤**(特)

(2)登山:「登」の基本の音読みは「トウ」。例:登場



第27回

I ①親切な青年に手を引かれて老人は道を歩いて行った。

②山に降った雨は岩の間を流れて川に流れ出る。

③学校では、目立たないごく普通の子です。

II ①務めた (つとめた) ②放す (はなす)

③連れて (つれて) ④太って (ふとって)

⑤論じて (ろんじて) ⑥洗いなさい (あらいなさい)

III ①配 a はいたつ b くばる

②速 c はやく d そくたつ

③遊 e ゆうえんち f あそぶ

④落 g らくだい h おちつき

⑤備 i そなえて j せつび

IV a 枚数 b 信用 c 預ける d 機会 e 相談

f 留学 g 続ける h くだもの i すいぶん j 例えば

V ①(1)1 (2)4 ②(1)3 (2)3 ③2

II ⑤論じる: 「議論する」という意味。「論じる/ずる」あり。

参 (5)IV e)

III c 速い (形): 参速さ (名)

IV g 続ける: 「つづける」振り仮名に注意。(×つづける)

h 果物: 参 (特)

V ②(2)問い合わせる: 「知りたいことを電話や手紙などで聞く」

第28回

I ①美しい海の底を泳ぐ魚を見てみたいものだ。

②旅行に行くので、飛行機とホテルを予約した。

③小学生の時から、算数は苦手でしたが、歴史は大好きでした。

II ①論争して (ろんそうして)

②注目されて (ちゅうもくされて)

③登場した (とうじょうした)

④合流する (ごうりゅうする)

⑤強調して (きょうちょうして)

⑥卒業して (そつぎょうして)

III ①等 a **びょうどう** b とうぶん

②重 c じゅうだいな d じゅうてん

③失 e しつぼう f かしつ

④由 g ふじゅう h りゅう

⑤具 i ぐあい j ぐたいてき

IV a **しょうじきな** b ぶり c よのなか d たしょう

e ぞうげん f だいたい g しゅうにゅう h くすりや

i **ずつうやく** j じむ

V ① 3 ② 4 ③ **2** ④ 3 ⑤ 1

III a 平等: 「平」の基本の音読みは「ヘイ」。例: 平和

IV a 正直な: 「直」の基本の音読みは「チョク」。例: 直前「ジキ」はほかに「直に」(副)

i 頭痛薬: 「頭」の基本の音読みは「トウ」。例: 先頭

V ③ 収める: 「結果を得る」「物をきちんと入れる」

⑤ 船便: 「ふね+びん」→「ふなびん」読み方に注意。「便」の基本の音読みは「ベン」。例: 便利

第29回

I ①二人は四年間の交際の末、婚約した。

②彼女は折れそうなくらい細い指をしている。

③言語にはそれぞれ特色があり、難しさを比べることはできない。

II ①打ち合わせた (うちあわせた)

②書き上げた (かきあげた)

③見直しなさい (みなおしなさい)

④引き返した (ひきかえした)

⑤知り合いました (しりあいました)

III ①天然 (てんねん)                      ②一流 (いちりゅう)

③経由 (けいゆう)                      ④平日 (へいじつ)

⑤調味料 (ちょうみりょう)      ⑥結論 (けつろん)

IV a はんとう      b まっさお      c はたけ      d 解決法

e ありがたく      f 言葉      g しなもの      h さっそく

i かきとめ      j やど

V ①(1)3      (2)2      (3)4      (4)1      ②3

II ③～直す:「動詞(ます) + 直す」  
で、「もう一度～する」

④引き返す:「元の場所まで戻る」

III ①天然:「然」の基本の音読みは「ゼン」。例:自然

IV b 真っ青: 靨 (特)

e 有り難い:「感謝したい気持ちである」

h 早速:「早」の基本の音読みは「ソウ」。

V ①(4)プロ級:「プロ」は「プロフェッショナル (職業としてそれを行う専門家)」の略。「～級」は「～と同じ程度」という意味。例:大臣級

- I ①あふたりの二人はきあ気が合あわなくて、まるで水みずと油あぶらのようだ。  
 ②彼かれは有能ゆうのうな男おとこだったが、家庭かていではいい父親ちちおやではなかった。  
 ③五年ごねんに一回いつかい、職業しよくぎやうや生活せいかつについての調査ちゆうさが行おこなわれる。

- II ①打ち消うちけした (うちけした)  
 ②引き受ひきうけて (ひきうけて)  
 ③差さし引ひかれる (さしひかれる)  
 ④通とり過かぎて (とおりすぎで)  
 ⑤組くみ立たてられる (くみたてられる)  
 ⑥飛とび出だして (とびだして)

- III ①温 a きおん b あたたかい  
 ②続 c れんぞく d つづき  
 ③济 e けいざい f しょうずみ  
 ④次 g しだいに h ついで  
 ⑤必 i ひつしに j かならず

- IV a あいず b すえっこ c できうる d じゅうやく  
 e 組 f 注文 g 追加  
 h じつとう/じゅつとう i せんとう j いっちゃやく

- V ①(1)2 (2)2 ②4 ③1 ④3

III e 経済けいざい：「济き」の基本きほんの音読おんよみは「サイ」。

IV c 出来得できうる：読み方よかたに注意ちゆうい。「出で来るき」を強つよめた固かたい言い方い。「～得えうる」は古ふるい言い方いで「～できるか、可能かのうせいがある」という意味いみ。

h 十頭じゅうとう：読み方よかたは「じつとう/じゅつとう」どちらもあり。「～頭とう」は大おほきい動物どうぶつを数かぞえる時とき使つかう助数詞じよすうし。

j 一着いちちやく：「～着ちやく」は到着とうちやくの順じゆんを表あらわす助数詞じよすうし。また、服ふくを数かぞえる時ときにも使つかう助数詞じよすうしでもある。

V ①(1)自治じち：「治ち」の基本きほんの音読おんよみは「ジ」。例れい：政治せいじ

(2)自由じゆう：「由ゆ」の基本きほんの音読おんよみは「ユ」。例れい：経由けいゆ

②作法さほう：読み方よかたに注意ちゆうい。「作さく」の基本きほんの音読おんよみは「サク」。

総合問題 1

I (1)①説 ②解 ③見 ④実

a せつめい b かいせつ c けんかい d じっけん  
e はっけん f じつげん

(2)①性 ②反 ③心 ④議

a せいべつ b はんえい c せいのおう d いはん  
e しんぱい f かんしん g ねっしん h ぎろん i ふしぎ

II ①一日 (ついたち) 一日 (いちにち)

②月日 (がっぴ) 月日 (つきひ)  
③十分 (じつぶん/じゅつぶん) 十分 (じゅうぶん)  
④今日 (きょう) 今日 (こんにち)

III ①着 (ちゃくちゃく) ②別 (べつべつに)

③続 (ぞくぞく) ④次 (つぎつぎに)  
⑤広 (ひろびろ) ⑥様 (さまざまな)  
⑦点 (てんでん)

IV ①a 道具 b 人類 c 能力 d 入れた e 発明

f 産業 g 工業 h 現代 i 情報 j 主要

② a 訪ねた b 野 c 草 d 種 e 庭

f 池 g 鳴いて h けはい i めし j くらって

③ a 発達 b 成長 c 願う d ぎょうじ e ななつ

f みつつ g 国民 h いつか i 成人 j はたち

④ a ともだち b そくたつ c 経営学 d 下宿 e ぶんや

f いのち g 政府 h 注意 i えがお j ふとい

III 々：同じ漢字が続く語の時に  
用いる符号。ほかに「人々」  
「山々」「国々」や「近々」な  
どがある。

IV ② g 鳴く：涙泣く

h 気配：「気」の基本の音読  
みは「キ」。例：空気

i 飯 j 食う：「飯を食う」  
は「ご飯を食べる」「食事  
をする」の男性のくだけた  
言い方。

④ a 友達 i 笑顔：笑 (特)

チャレンジ 接辞①

I ①1 ②3 ③1 ④3 ⑤1

II ①食 ②生 ③中 ④者

III ①有名人 大学生 銀行員 ②入学金 生活費 電車賃

③運動場 大使館 案内所 研究室 観光地

IV ①無 ②未 ③不 ④非

チャレンジ 読み方と意味

- I ①れんきゅう ②さいかい ③たよう ④はいち ⑤ぜんれい ⑥かいし  
 II ①再会 ②多様 ③開始 ④配置 ⑤前例 ⑥連休  
 III ①同 ②どうかん ③予よかん ④反はんかん  
 ④未みてい ⑤固こてい ⑥制せいいてい

ステップ 3

第31回

- I ①日本は海に囲まれた島国である。  
 ②いい部屋が見付かったので、今度の土曜日に引っ越しをする。
- II ①鋭い (するどい) ②永い (ながい)  
 ③汚くて (きたなくて) ④偉い (えらい)  
 ⑤易しそう (やさしそう)
- III ①延 a のびた b えんちよう  
 ②移 c うつした d いてん  
 ③域 e ちいき f くいぎ  
 ④液 g けつえき h えきたい  
 ⑤貨 i つうか j かもつ
- IV a かわ b しるし c うえん d けむり  
 e おかし f いしょくじゅう g おさえて h 永遠  
 i 愛 j おく
- V ①(1)2 (2)4 ②2 ③1 ④1

- I ①島国: 「しま+くに」 → 「しまぐに」読み方に注意。
- II ②永い: 「いつまでもずっと続く様子」 ③汚い (形): 汚れる (自)、汚す (他)
- III a 延びる: 「距離や時間が長くなる」例: 会議が延びる、道路が延びる ④伸びる  
 i j : 通貨・貨物: 「貨」には「お金」と「荷物、品物」二つの意味がある。
- IV a 河: 「大きい川」 ④川  
 c ~ 炎: 「~に痛み、熱、赤みなどを起こすこと」  
 d 煙 (名): 送り仮名はない。  
 ④煙い (形)
- V ④運河: 「河」の基本の音読みは「カ」。

第32回

I ①漢字を一日に十五個ずつ覚えることにしている。

②経済の成長と共に、公害が社会問題となった。

II ①隠そう (かくそう) ②異なる (ことなる)

③汚して (よごして) ④換えて (かえて)

III ①慣 a しゅうかん b なれる

②観 c かんきやく d かんこう

③確 e せいかくな f たしかめて

④乾 g かわいて h かんでんち

⑤割 i わりあい j やくわり

IV a かぶ b **みなさん** c はね d かいせい

e ほした f けつあつ g しょくえん h かわ

i くつ j はいいろ

V ①1 ②1 ③**2** ④**2** ⑤2

II ④換える：「ほかの物ととりかえる、交換する」**替**替える、代える

IV b 皆さん：「みんな」は「皆」のくだけた言い方。

c 羽：「鳥や虫に生えている羽」

h 革：「動物の皮を加工した物」

**皮**

V ③羽根：「鳥から抜けた羽根」

④仮名：**替** (特)

第33回

I ①休みの日の公園は、子供連れの家族でいっぱいだ。

②技術の進歩があまりにも速いため、追い付いていけない人もいる。

II ①祈った (いのった) ②居た (いた) ③叫んだ (**さけんだ**)

④吸った (すった) ⑤救って (すくって)

⑥割って (わって)

III ①許 a きよか b ゆるして

②疑 c うたがわれた d ぎもん

③求 e ようきゆう f もとめて

④演 g えんぎ h えんぜつ

⑤給 i きようきゆう j きゆうりょう

IV a 荷物 b あまそうな c つまって d 基本

e 応用 f ふくんだ g よせられた h きふ

i 金額 j 物価 k 仮定 l かんき

m 異常 n きゆうかん o 案内

V ①2 ②4 ③2 ④**4** ⑤3

I ①～連れ：「～と一緒に行動している」

II ③叫ぶ：「大きな声を出す」「世の中に意見を強く主張する」

という意味。例：平和を叫ぶ

V ④丸 (名)：**丸**丸い (形)、**円**円い (形)

第34回

- I ①暑<sup>あつ</sup>かった夏<sup>なつ</sup>が終<sup>お</sup>わり、読<sup>どく</sup>書<sup>しょ</sup>の秋<sup>あき</sup>、芸<sup>げい</sup>術<sup>じゆつ</sup>の秋<sup>あき</sup>がや<sup>あ</sup>つてきた。  
 ②会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>が進<sup>すす</sup>むうちに、会<sup>かい</sup>員<sup>いん</sup>た<sup>ち</sup>の多<sup>おほ</sup>くが反<sup>はん</sup>対<sup>たい</sup>意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>に傾<sup>かたむ</sup>き始<sup>はじ</sup>めた。
- II ①押<sup>お</sup>す (おす)                      ②驚<sup>おど</sup>いた (おどろいた)  
 ③恐<sup>おそ</sup>れて (おそれて)    ④愛<sup>あい</sup>して (あいして)  
 ⑤寄<sup>よ</sup>って (よって)
- III ①敬    a けいご                      b けいい  
 ②景    c けいき                      d けしき  
 ③勤    e つうきん                      f つとめた  
 ④久    g ひさしぶりに                  h えいきゆう  
 ⑤義    i いぎ                                  j こうぎ
- IV a むれ                      b あんいな    c ぎやく                      d かんびよう  
 e きゆうこん    f むね                      g こつきよう    h 拡大  
 i 机                                  j 覚めた                  k きようぎ                  l ぎよぎよう  
 m ひかく                      n ぶんけい    o ぐうぜん
- V ① 3    ② 2    ③ **2**    ④ 3    ⑤ 1

- III d 景色：参 (特)  
 f 勤める：「会社<sup>かいしゃ</sup>などで給<sup>きゅうりょう</sup>料<sup>りょう</sup>をもらって仕事<sup>しごと</sup>をする」参務<sup>つと</sup>める、努<sup>つと</sup>める
- IV b 安<sup>あん</sup>易<sup>い</sup>な：「易<sup>き</sup>」の基<sup>き</sup>本<sup>ほん</sup>の音<sup>おん</sup>読<sup>よ</sup>みは「エキ」。例：貿<sup>ぼう</sup>易<sup>えき</sup>  
 j 覚<sup>さ</sup>める：参覚<sup>おぼ</sup>える
- V ③ 逆<sup>さか</sup>らう：「順<sup>じゆん</sup>当<sup>とう</sup>な方<sup>ほう</sup>向<sup>こう</sup>に對<sup>たい</sup>して逆<sup>ぎやく</sup>に進<sup>すす</sup>もうとする」「反<sup>はん</sup>抗<sup>かう</sup>する」例：「風<sup>かぜ</sup>に逆<sup>さか</sup>らう」「先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に逆<sup>さか</sup>らう」参逆<sup>さか</sup>

第35回

- I ①明<sup>あす</sup>日<sup>くに</sup>、国<sup>とも</sup>から友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>が来<sup>く</sup>るので、空<sup>くう</sup>港<sup>こう</sup>へ迎<sup>むか</sup>えに行<sup>い</sup>く。  
 ②図<sup>としよ</sup>書<sup>かん</sup>館<sup>か</sup>で借<sup>か</sup>りた本<sup>ほん</sup>は厚<sup>あつ</sup>いので、一<sup>いつ</sup>週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>では読<sup>よ</sup>めそうにない。
- II ①狭<sup>せま</sup>い (せまい)                      ②賢<sup>かし</sup>い (かしこい)  
 ③恐<sup>おそ</sup>ろしい (おそろしい)    ④煙<sup>けむ</sup>く (けむく)  
 ⑤固<sup>かた</sup>い (かたい)
- III ①検<sup>けん</sup> (けんさ)                      ②解<sup>ご</sup> (ごかい)    ③更<sup>へん</sup> (へんこう)  
 ④協<sup>きょう</sup> (きょうりよく)    ⑤管<sup>かん</sup> (かんに)    ⑥競<sup>きょう</sup> (きょうそう)  
 ⑦及<sup>ふき</sup> (ふきゆう)
- IV a 傾向                      b 事故                      c ちょうかん    d 権利  
 e かんたんな    f かんかく                  g こ                      h みずうみ  
 i じゅうきよ    j ちえ                      k しき                      l くんれん  
 m かた                      n あいけんか    o ひげき
- V ① **2**    ② **1**    ③ 1    ④ 4    ⑤ 2

- II ③ 恐<sup>おそ</sup>ろしい：「危<sup>き</sup>険<sup>けん</sup>を感じ<sup>かん</sup>じて逃<sup>に</sup>げ出<sup>だ</sup>したくなるような感じ」  
 ⑤ 固<sup>かた</sup>い：参硬<sup>かた</sup>い
- IV j 知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>：「恵<sup>き</sup>」の基<sup>き</sup>本<sup>ほん</sup>の音<sup>おん</sup>読<sup>よ</sup>みは「ケイ」。  
 n 愛<sup>あい</sup>犬<sup>けん</sup>：「愛<sup>あい</sup>」は「大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>に思<sup>おも</sup>っている、大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>にしている」という意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。例：愛<sup>あい</sup>車<sup>しゃ</sup>
- V ① 幸<sup>さい</sup>いな (形)：送<sup>おく</sup>り仮<sup>が</sup>名<sup>な</sup>に注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>。参幸<sup>さい</sup>せ (名)  
 ② 機<sup>き</sup>嫌<sup>げん</sup>：こ<sup>こ</sup>では「表<sup>ひょう</sup>情<sup>じょう</sup>や態<sup>たい</sup>度<sup>ど</sup>に表<sup>あらわ</sup>れる快<sup>かい</sup>・不<sup>ふ</sup>快<sup>かい</sup>などの感<sup>かん</sup>情<sup>じょう</sup>」という意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。



I ①野菜や果物を食べないとビタミンが不足する。

②世界中で気候の温暖化が進んでいる。

II ①嫌って (きらって)      ②枯れて (かれて)

③込んで (こんで)      ④荒れて (あれて)

⑤雇われる (やとわれる)

III ①庫 a きんこ      b しやこ

②香 c かおり      d こうすい

③呼 e こきゆう      f よぶ

④固 g かたまつて      h こたい

⑤互 i おたがい      j そうご

IV a かた      b まかなければ      c きっさてん

d きんえん      e あつかましい      f ほのお

g しお      h あまやかされて      i おそれ

j こうちゃ      k かいがん      l すな

m ほつきよく      n とった      o かまわないで

V ① 3    ② 3    ③ 4    ④ 4    ⑤ 1

II ③込む: 「人や物が動けないく

らいたくさん集まった状態」

III c 香り (名): 「におい」の中で

「いいにおい」の時に使う。

i お互い: 送り仮名に注意。

IV a 型: 「同じ物を作る時のもと

になる物」図形

c 喫茶: 「茶」の基本の音読み

は「チャ」。例: 茶色

e 厚かましい: 「ずうずうしい、

遠慮がない」

n 採る: ここでは「人を雇う」

という意味。図取る、と捕る

o 構う: 「気を遣う」

V ①誤り (名): 「間違い」という

意味。誤る (動)

②越える: 「ある場所・地点を

通り過ぎて向こうへ行く」図

越える

第37回

I ①この辞書は、例がたくさんあって使いやすい。

②彼は、大学の文学部に入ることを希望している。

II ①殺して (ころして)

②咲いて (さいて) 散って (ちって)

③似て (にて) ④辞めた (やめた) ⑤嫌がる (いやがる)

III ①材 aもくざい bざいりょう

②察 cかんさつ dけいさつ

③支 eしきゅう fしてん

④混 gこんごう hこんざつ

⑤散 iさんぽ jかいさん

IV a いんさつじょ b すりあがった c めいし

d かいさつぐち e ひとつごみ f じさつ

g 原因 h と i くん j ぎみ k まつって

l おまいり m いくじ n 参考 o ぎむ

V ①(1)1 (2)3 ②3 ③1 ④2

II ④辞める：「勤めや地位から身を引く」

IV a 印刷所：「所」の基本の音読み

みは「シヨ」。例：事務所

b 刷り上がる：「～上がる」は、

ここでは「完成する」

d 改札口：「かいさつ+くち」

→「かいさつぐち」読み方に注意。

i ~君：仲間や目下に使う、軽

い敬意を示す言葉。

V ①(2)歯車：「は+くるま」→「は

ぐるま」読み方に注意。

②漁師：「漁」の基本の音読み

は「ギョ」。例：漁業

第38回

I ①日本の夏は、湿度が高くて過ごしにくい。

②日本文化に関する知識を深くするために、寺や神社を訪ねて回った。

II ①甘えて (あまえて)

②捨てて (すてて) 拾って (ひろって) ③述べた (のべた)

④支えて (ささえて) ⑤就きたい (つきたい)

III ①準 a すいじゅん b じゅんび

②順 c じゅんちょう d じゅんばん

③幸 e こううんな f しあわせな

④守 g るす h まもって

⑤招 i まねく j しょうたい

IV a やわらかい b にあう c さいてん d ししゃごにゆう

e 平均 f とこや g 消防署 h どうし

i じゅつご j しゅうしょく k いわって

l いっしょに m じょうしき n しゅう o しょこく

V ①1 ②4 ③3 ④4 ⑤1

III f 幸せな：読み方に注意。

g 留守：「守」の基本の音読み

は「シュ」。「留」の基本の音

読みは「リュウ」。例：留学

IV a 柔らかい：軟らかい

V ③支度：「度」の基本の音読み

は「ド」。例：温度

④競馬：「競」の基本の音読み

は「キョウ」。例：競争

第39回

I ①将来、この近くに地下鉄の駅ができる。

②わずかながら株の価格が上がった。

II ①六軒 (ろっけん)

②八冊 (はっさつ) 四畳半 (よじょうはん)

③一羽 (いちわ) ④二割 (にわり)

⑤十歳 (じっさい/じゅっさい)

III ①植 a しょくぶつ b うえて

②賞 c しょうきん d しょうひん

③状 e じょうきょう f しょうじょう

④囲 g しゅうい h かこまれて

⑤蒸 i むしあつい j じょうはつ

IV a まるい b お皿 c てって d 証明

e だいじん f のぼった g いわい h しゆくじつ

i さいじつ j 文章 k くちべに l きゅうじよ

m はり n さして o からい

V ①1 ②2 ③(1)3 (2)2 ④4

II ①～⑤助数詞

IV e 大臣: 「臣」の基本の音読み

は「シン」。

f 昇る: 「勢いよく高い所に行

く」例: エレベーターで一気

に昇る 参「登る」「上る」

V ①姓: 「名字」

②承る: 「引き受ける」「聞く」

の謙譲語。

③(1)吹雪: 参(特)

第40回

- I ①面接は第一印象が大切である。  
 ②この委員会は、住民の代表と専門家で構成されている。
- II ①積んだら (つんだら) ②伸びた (のびた)  
 ③吹かれ (ふかれ) ④焼いて (やいて)  
 ⑤触って (さわって)
- III ①接 (せっきん) ②介 (しょうかい) ③書 (せいしょ)  
 ④処 (しより) ⑤承 (しょうち) ⑥支 (しはい)
- IV a はんせい b さがした c はいざら d まど  
 e はいた f そうじき g かんごし h せいしん  
 i たいしょう j せいひん k 成績 l しょうじょう  
 m おんせん n しめる o 面積
- V ①2 ②1 ③4 ④3 ⑤3

- II ②伸びる：物の長さ、身長、成績などを使う。③延びる
- ⑤触る：④触れる
- IV b 探す：「見えなくなったものを見付けようとする」④探す
- c 灰皿：④「はい+さら」→「はいざら」読み方に注意。
- f 掃除機：「除」の基本の音読みは「ジョ」。
- i 対照：④対象
- n 占める：ここでは「全体の中心である割合を持つ」という意味。例：賛成が過半数を占める
- V ②占う：「将来の運勢を予測する」
- ③大勢：「勢」の基本の音読みは「セイ」。
- ④万歳：読み方に注意。「万」の基本の音読みは「マン」、  
 「歳」の基本の音読みは「サイ」。例：1万円、3歳

第41回

I ①その機械の構造は、意外にも簡単だった。

②約束を守らなければ信用を失うだろう。

II ①お礼状 (おれいじょう) ②血液型 (けつえきがた)

③ドイツ製 (ドイツせい) ④死亡率 (しぼうりつ)

⑤定期券 (ていきけん) ⑥発言権 (はつげんけん)

III ①測 aそくてい bはかった

②尊 cそんなよう dそんなけい

③存 eそんなざい fそんなせい

④則 gほうそく hきそく

⑤骨 iほね jこっせつ

IV aむすこ bいき cせいらい dこうそう

eかんそうき fせいさく gほうしん hおくりもの

iはなたば jこうか kおさつ lいきおい

mむかしばなし nまご oしそん

V ①1 ②2 ③1 ④4 ⑤2

II ②～型：「～型」の読み方に注意。

④～率：「～の割合」。「率」の基本の音読みは「ソツ」。例：率直

III ①b測る：長さや高さや広さを調べる時に使う。図計る、量る

c尊重：「重」の基本の音読みは「ジュウ」。例：重要

③e f 存在・生存：「存」の基本の音読みは「ソン」だが、「ゾン」と読む語が多い。

IV a 息子：図 (特)

f 製作：「道具や機械を使って物を作る」図制作

k お札：「紙のお金」

m 昔話：「むかし+はなし」→「むかしばなし」読み方に注意。

V ③御中：読み方に注意。会社などに郵便物を出す時、あて名の下に添える語。図個人あての郵便物には「～様」を使う。

④触れる：「軽く触る」図触る

チャレンジ 接辞②

I ①3 ②1 ③4 ④2 ⑤4

II ①用 ②再 ③外 ④愛 ⑤観

III ①新聞 ②禁煙 ③消防 ④水道 ⑤文化

第42回

- I ①団体旅行は安全だが、自由が制限される。  
 ②東京は土地の値段も物価も高く住みにくい。
- II ①荒く (あらく) ②清く (きよく) ③浅い (あさい)  
 ④憎くて (にくくて) ⑤硬い (かたい)
- III ①官 a かんちょう b けいかん  
 ②超 c こえる d ちょうか  
 ③装 e ふくそう f そうち  
 ④率 g そつちよくに h かくりつ  
 ⑤接 i ちよくせつ j かんせつ
- IV a りょうがえ b 駐車 c しゅだん d はずかしくて  
 e つま f ふさい g なかま h ちょうじょう  
 i けんちくぶつ j そうりだいじん k きんぞく  
 l せきたん m 宇宙 n りょうがわ o でんちゅう
- V ①3 ②2 ③2 ④4 ⑤1

- I ②土地：「土」の基本の音読みは「ド」。例：土曜
- II ⑤硬い：「石や金属が外力に強い」 堅固い
- III c 超える：「基準や限界から出る」例：半数を超える 超越える
- V ③畳む (動)：畳 (名)

第43回

- I ①信号が赤から青になるのを待って、横断歩道を渡った。  
 ②特急はすべて座席指定となっております。
- II ①怒らせて (おこらせて) ②贈った (おくれた)  
 ③造られた (つくられた) ④凍った (こおった)  
 ⑤逃げて (にげて)
- III ①適 a てきどな b かいてきな  
 ②態 c たいど d じょうたい  
 ③震 e じしん f ふるえて  
 ④想 g こうそう h はっそう  
 ⑤象 i ぞう j たいしょう
- IV a 発展 b せいとう c とうゆ d 貯金  
 e ごうとう f ぬすまれ g しんぞう h ごぞんじ  
 i ちょしゃ j にくんで k すいてき l いずみ  
 m たおれた n こうたい o めんどう
- V ①1 ②3 ③1 ④4 ⑤1

- II ②贈る：「人に感謝や愛情、祝福の気持ちを表すために位や物をあげる」 贈送る
- ③造る：抽象的なものには使わない。 作る
- ④凍る：凍える
- III i j 象・対象：「象」の基本の音読みは「ショウ」。「ゾウ」は「動物の象」
- IV e 強盗：「強」の基本の音読みは「キョウ」。例：「勉強」  
 o 面倒：「倒」の基本の音読みは「トウ」。

第44回

I ①スピーチ大会に出場するので、発音の指導を受けた。

②家へ帰る途中で、図書館に寄って本を返した。

II ①届いて (とどいて) ②認められ (みとめられ)

③悩んで (なやんで) ④省いた (はぶいた)

⑤探した (さがした)

III ①独 aどくりつ bどくしん

②突 cとつぜん dつっこんで

③破 eはさん fやぶれて

④背 gせおった hせびろ

⑤任 iせきにな jまかせる

IV aでんぱ bのう cにぶく dくもり

eこうよう fかいぞう gこい hぬる

i健康 jきゅうそく kじゅんじょう lじどう

mせいと nきよだいな oはしら

V ①2 ②4 ③2 ④(1)1 (2)3

II ⑤探す: 「欲しいもの、必要なものを求める」 参 捜す

III g 背負う: 「背中に乗せる」

h 背広: 「男性用のスーツ」

IV e 紅葉 (名): 「秋になって色を変えた葉」 参 紅葉

V ③探る: 「目に見えないものをさがす」 例: 「秘密を探る」 参 探す

第45回

I ①本の出版を記念して、講演会が開かれた。

②大教室では前に座らないと黒板の字が見にくい。

II ①一兆 (いっちょう) ②一匹 (いっぴぎ) ③二匹 (にひぎ)

④三杯 (さんばい) ⑤五泊六日 (ごはくむいか)

⑥六十巻 (ろくじっかん/ろくじゅっかん)

III ①断 (はんだん) ②認 (しょうにん) ③担 (たんとう)

④像 (そうぞう) ⑤賛 (さんせい) ⑥参 (じさん)

IV a つとめて bどりよく cなみ dかんたい

eそんがい fせめられた gていりゅうじょ hはんばい

iはんざい jひがい kかみ lしょうどくやく

mうすめて nさか oいた

V ①3 ②1 ③2 ④1 ⑤3

I ②黒板: 「板」の基本の音読みは「ハン」。

II ②〜匹 ③〜杯: 助数詞 読み方、音変化に注意。

⑤〜巻: シリーズの本の数え方。

IV a 努める: 「一生懸命力をつくす」 参 務める、勤める

V ④背: 意味が「身長」の時には「せい」とも「せ」とも読む。

⑤灯: 「明かり」

I ①会社の方針が能率第一に変わってから、働きづらくなった。

②君の言っていることは、一般論にすぎず具体性がない。

II ①副社長 (ふくしゃちょう)

②諸問題 (しょもんだい)

③再発行して (さいはっこうして)

④総人口 (そうじんこう)

⑤省エネルギー (しょうエネルギー)

⑥翌年 (よくねん/よくとし)

III ①定 a こうてい b ひてい

②復 c ふくしゅう d かいふく

③提 e ていしゅつ f ていあん

④複 g ふくぎつ h ふくすう

⑤財 i ざいさん j さいふ

IV a しろ b まわり c ふね d 浮かべて

e おゆ f わかして g ねこ h そぼ

i のうど j おみまい k せんたくもの l ふうとう

m はな n きつぷ o はくし

V ①4 ②2 ③4 ④4 ⑤1

II ①～⑥接辞「副～」「諸～」「再～」「総～」「省～」「翌～」

参「広がる広げる漢字の言葉接辞」

⑤省～:「必要のない、～を使わない」という意味。「省エネルギー」を省略して「省エネ」とも言う。

III i 財産 j 財布:「財」の基本の音読みは「ザイ」。

IV k 「洗濯物」:「センタク (音) +もの (訓) 読み方に注意。

o 博士:「大学院の後期課程」

の時は「ハクシ」と読む。参博士

V ②再来週:「再」の基本の音読みは「サイ」。

「再来～」は「次の次の～」という意味。例: 再来月



第47回

I ①この雑誌の記事は、確かな情報を基に書かれている。

②税金の支払いは期限までに必ず済ませること。

II ①眠れなかった (ねむれなかった) ②満ちた (みちた)

③暮らしたい (くらしたい) ④抱いた (だいた)

⑤包んで (つつんで)

III ①辺 a あたり b しゅうへん

②豊 c ゆたかな d ほうふな

③亡 e しばう f なくなる

④満 g まんいん h ふまん

⑤遅 i おそかった j ちこく

IV a けがわ b ぼうし c むすめ d あみもの

e てぶくろ f あんで g むしば h みがく

i とったり j たから k うめたり l ぎゅうにゆう

m おぎなう n いねむり o ぎょうふ

V ①3 ②4 ③3 ④1 ⑤4

I ②済ませる：「仕事などを終わらせる」

II ④抱く：「しっかりと両手で胸に持つ」抱える、抱く

III a 辺り：送り仮名に注意。

IV i 捕る：「逃げる相手を押さえて動かないようにする」捕まえる、捕らえる

n 居眠り：「座ったり、腰掛けたりしたまま眠ること」

V ③坊ちゃん：「坊」の基本の音読みは「ボウ」。例：寝坊

⑤博士：特 (特) 意味は「その道に通じた人」博士

I ①大雪のため、飛行機の到着時刻が変更になりました。

②欠席する場合は必ず連絡してください。

II ①薄い (うすい) ②軟らかく (やわらかく)

③怖い (こわい) ④幼い (おさない)

⑤優しい (やさしい)

III ①容 a ようき b ようい

②欲 c しょくよく d ほしがら

③浴 e かいすいよく f あびた

④包 g こづつみ h ほうそう

⑤訓 i くんれん j くんよみ

IV a はこ b うら c ぼくはつ d 太陽 e ぶたい

f おどれる g ふごう h めいしん i ぶぎ j ぼうえき

k ちんたい l ひつじ m つかまえた n めん o こし

V ①2 ②1 ③3 ④(1)2 (2)1

II ②軟らかい: 「力を加えると変  
形しやすい」 ㊦ 柔らかい

III b 容易・IV j 貿易: 「エキ」と  
読む時は「取り替える」とい  
う意味。「イ」と読む時は  
「易しい」という意味。

IV m 捕まえる: 「しっかりと手に  
つかむ」 ㊦ 捕る、捕らえる

n 綿: 「メン」は布の種類を表  
す時に使う。 ㊦ 綿

V ③抱える: 読み方に注意。「胸  
の前、またはわきに両手で支  
える」 ㊦ 抱く、抱く

④(1) 仏の顔も三度: ことわざ  
「どんなに温和な人も何度も  
ひどいことをされれば、最後  
には怒り出す」

(2) 犬も歩けば棒に当たる: こ  
とわざ「時には災難にあうこ  
ともある」「何かやっついで  
ば意外な幸運に出会うことが  
ある。(現在はこちらの意味  
で使われることが多い。)」

第49回

I ①地球の緑を失わないように守り育てるのが私たちの仕事だ。

②スポーツの世界では、毎年新しい記録が生まれている。

II ①混ざる(まぜる) ②整ったら(ととのったら)

③張られて(はられて) ④犯した(おかした)

⑤込めて(こめて)

III ①労 a ろうどう b くろう

②量 c ぶんりょう d はかる

③冷 e れいせい f つめたくて

④恋 g しつれん h こいびと

⑤輸 i ゆにゆう j ゆしゅつ

IV a たまご b こむぎ c とき d こな

e どりぼう f 宝石 g 指輪 h もどつて

i つうやく j たよる k よけい l ねんれい

m いらょう n ゆめ o だいて

V ①(1)2 (2)3 ②(1)3 (2)1 ③2

II ①混ぜる: 「2種類以上の物を一緒にして溶け合わせる」図交ざる

III ②d量る: 重さ・量を調べる時につかう。図計る、測る

IV b ~粉: 「~を細かくして粉にしたもの」

o 抱く: 「心の中に持つ」図抱く、抱える

V ②(2)布団: 「団」の基本の音読みは「ダン」。例: 集団

③縮: 「縮のような~」は比喩。「柔らかくてふわふわしているところが、綿に似ている~」という意味。図綿

第50回

I ①眠い時は、軽く体操をして目を覚ますようにしている。

②労働条件を改善するための話し合いが行われた。

II ①余って(あまって) ②浮かべて(うかべて)

③冷えた(ひえた) ④与えないで(あたえないで)

⑤沈み(しずみ)

III ①略(しょうりゃく) ②了(かんりょう)

③凍(れいとう) ④乱(こんらん) ⑤募(ぼしゅう)

⑥令(めいれい) ⑦緑(りょっか)

IV a たたみ b こいしく c ゆうしょう d こうほ

e きゅうよ f なみだ g まずしかった h 幸福な

i 栄養 j ふで k ちらかって l かたづけて

m もえる n しゃりん o うらぎらない

V ①2 ②1 ③4 ④4 ⑤1

I ①覚ます: 図覚える

II ③冷える(動): 図冷める(動)、冷たい(形)

III ①省略: 「省」の基本の音読みは「セイ」。例: 反省

⑦緑化: 「植物を植えて緑を多くすること」読み方に注意。

IV k 散らかる: 「物が片付かないであちこちにある様子」

V ①紅葉: 「もみじ」という木の名前。図(特) 図紅葉

第51回

- I ①社長は、自分の判断ミスを絶対認めようとしなかった。  
 ②はつきり断ったのに、その男は借金を頼みに再び現れた。
- II ①呼び出して (よびだして)  
 ②払い戻して (はらいもどして)  
 ③乗り換えて (のりかえて)  
 ④見慣れない (みなれない)
- III ①極 aせつきよくてき bしょうきよくてき  
 ②列 cれつとう dぎょうれつ  
 ③冷 eさまして fれいぞうこ  
 ④頼 gいらい hたのもしい  
 ⑤律 iほうりつ jきりつ
- IV aはいけん b環境 c基準 dひはん eおうじて  
 fあん g主張 h司会 iはんして jやちん  
 k季節 lほぞん mよくばりな n目標 oいし
- V ①2 ②4 ③3 ④(1)3 (2)1

- I ②断る：「相手の頼みを受け入れられない」
- III h頼もしい：「頼りになりそうな感じがする」  
 ④頼る、頼む
- IV e応じる：「応じる／ずる」あり。  
 「漢字1字+じる／ずる」で動詞になる漢字には「生じる、通じる、信じる、論じる、感じる、命じる、存じる」などがある。
- i 反する：  
 ④「漢字1字+する」動詞 (52 I ②)
- V ①捕らえる：「相手の動きに応じてつかまえる」「しっかりとつかむ」  
 ④捕る、捕まえる
- ④(2)雨戸：「あめ+と」→「あまど」読み方に注意。

- I ① <sup>しつぱい</sup>失敗を<sup>おそ</sup>恐れず、<sup>りそう</sup>理想<sup>む</sup>に向かって<sup>すす</sup>進め。
- ② このレポートは、戦争で心と体に深刻なダメージを受けた子供たちに接した医師が書いたものだ。
- II ① 思い込んで (おもいこんで) ② 飛び込んだ (とびこんだ)
- ③ 引っ込んだ (ひっこんだ) ④ 溶け込み (とけこみ)
- ⑤ 申し込む (もうしこむ)
- III ① 働 a ひょうか b かち
- ② 修 c けんしゅう d しゅうり
- ③ 授 e きょうじゅ f じゅぎょう
- ④ 節 g せつやく h ちょうせつ
- ⑤ 張 i かくちょう j しゅつちょう
- IV a 暮れる b むちゆう c ようじ d ねぼう
- e はら f へんしゅう g りょうしゅう h ひつき
- i りやくした j らんぼうな k 勇氣 l ぬいた
- m うで n 氷 o ひふか
- V ① 1 ② 2 ③ 4 ④ 3 ⑤ 4

- I ② 接する：「漢字1字+する」  
で動詞になる漢字には「達する、熱する、愛する、関する、反する、略する」などがある。
- II 複合動詞 「～込む」②③⑤  
「何かがある中に入ること。またそうした状態にすること」という意味。①④「すっかりその状態になってしまい、元の状態に戻れない」という意味。
- IV a 暮れる：「日が沈んで暗くなる」  
夕暮らす  
c 幼児：「小学校に入る前ぐら  
いままでの子供」
- V 二十歳、迷子、白髪、木綿、  
浴衣：浴 (特)

第53回

I ① <sup>とうじ</sup>当時の<sup>せいふ</sup>政府は、<sup>のうか</sup>農家から<sup>こめ</sup>米を<sup>たか</sup>高く<sup>か</sup>買い、<sup>しょうひしや</sup>消費者には<sup>やす</sup>安く<sup>う</sup>売っていた。

② <sup>まんぞく</sup>満足できる<sup>けつ</sup>結果が<sup>え</sup>得られて、<sup>いま</sup>今までの<sup>くろう</sup>苦勞も<sup>わす</sup>忘れてしまった。

II ① 果した (はたした) ② 迷って (まよって)

③ 払う (はらう) ④ 離れる (はなれる)

⑤ 含めた (ふくめた)

III ① 片 a はへん b かたみち

② 程 c かてい d ていど

③ 統 e けいとう f でんとう

④ 評 g ひょうばん h ひょうろん

⑤ 婚 i けっこん j りこん

IV a 労働 b 守る c ほう d そん

e ぶし f ほど g すいとう h たくはいびん

i わかわかしく j ようもう k 秒 l ていでん

m ふぞく n ごりょうしん o てちよう

V ① 4 ② 1 ③ 1 ④ 1 ⑤ 2

III g 評判: 「判」の基本の音読みは「ハン」。例: 判断

IV f 程: 「身の程」で「身分」「能力の程度」という意味。

h 宅配便: 「宅配」は「自宅配達」の略。「商品や荷物を自宅まで配達すること」という意味。

n 御~: 例: 御連絡、御意見など。「御」の基本の音読みは「ギョ」。

総合問題2

I ① <sup>にほん</sup>日本は<sup>よつ</sup>四つの<sup>しま</sup>島から<sup>な</sup>成っています。どこの<sup>くに</sup>国にも、<sup>くに</sup>国がどうやって<sup>う</sup>生まれたかという<sup>しんわ</sup>神話があります。日本の場合は、<sup>にほん</sup>男と<sup>おんな</sup>女の<sup>かみさま</sup>神様が<sup>けっこん</sup>結婚して、これらの<sup>しま</sup>島を作ったということになっています。

② <sup>おとな</sup>大人は、<sup>おんな</sup>幼い<sup>こども</sup>子供は<sup>なや</sup>悩んだり<sup>くる</sup>苦しんだりすることはないと<sup>おも</sup>思いがちだ。しかし、<sup>こども</sup>子供はそんなに<sup>たんじゆん</sup>単純ではない。ある<sup>じどうぶんがくしや</sup>児童文学者は、「<sup>こども</sup>子供に<sup>あま</sup>甘い<sup>かし</sup>お菓子の<sup>はなし</sup>ような<sup>あた</sup>話ばかり<sup>まちが</sup>与えるのは間違いだ。彼らは大人以上に<sup>し</sup>死の<sup>おと</sup>恐怖を感じ、<sup>じんせい</sup>人生の意味を<sup>い</sup>考えている。」と<sup>かた</sup>語っている。

II ① 下降 (かこう) ② 困難な (こんなんな) ③ 団体 (だんたい)

④ 到着 (とうちやく) ⑤ 単純な (たんじゆんな) ⑥ 収入 (しゅうにゅう)

III ① 体重 (たいじゆう) 重体 (じゆうたい) ② 階段 (かいだん) 段階 (だんかい)

③ 実現 (じつげん) 現実 (げんじつ) ④ 先祖 (せんぞ) 祖先 (そせん)

IV ① a せいしん b 原因 c しんたい d しんこく e いし

f せつした g いんしょう h 周囲 i きたいどおり j やさしい

② a 設計 b きゆう c つねに d しょくば e 追われる

f ひっしに g のう h しょうじて i 感覚 j 含めて

k 冷静 l 観察 m どりよく n みのらない o ゆうき

### チャレンジ 接辞③

- I ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤1 ⑥4  
II ①系<sup>けい</sup> ②化<sup>か</sup> ③性<sup>せい</sup> ④派<sup>は</sup> ⑤超<sup>しょう</sup>

### チャレンジ 音の変化

- I ①1. B こくりつ 2. B こくさん 3. A こつきょう 4. B こくれん  
②1. A しゅつきん 2. B しゅつげん 3. A しゅつさん 4. B しゅつだい  
③1. B しはつ 2. B かいはつ 3. A はんぱつ 4. A せんぱつ  
④1. A いっぽう 2. A えんぽう 3. B たほう 4. A りっぽう  
II aさいはつ bかっぱつ cけいひ dじっぴ eけつひ  
fけつしょう gぶんぱい hはいぶん iかんきやく jぎゃつかん  
III ①有しゅうち ②用しょうきんし ③建さいけん ④健けんざい  
⑤居どうきょ ⑥連れんきゅう ⑦品しゅつびん ⑧京ききょう

### チャレンジ 読解

- I ①aロボット b効果 c介護 d負担  
②省略  
③1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ○ 6. ×  
④気持ち<sup>きもち</sup>を元氣<sup>げんき</sup>で明るくする(など)  
⑤1. こうれいしゃ 2. じょうじょう 3. ゆうこうせい 4. じっしょう 5. かいご  
6. ふたん  
II ①aヒゲ b伸ばす<sup>の</sup> c市民<sup>しみん</sup> d不快<sup>ふかい</sup> eおかしい  
②省略  
③1. × 2. ○ 3. ○ 4. × 5. ○  
④きれいに整え<sup>ととの</sup>られていないヒゲ  
⑤1. ちょうないぶんしょ 2. ふかい 3. めいぶんか  
4. たいしょする 5. ようにんする 6. ぜんめんきんし

